

令和5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等

市町名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
佐賀市	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	全市的に見ると地域と学校の連携・協働体制の導入率は低く、学習支援ボランティアの確保等、地域によってばらつきがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクール担当部署と連携した実施体制の整備</li> <li>・地域住民、関係団体等への普及啓発、理解の促進</li> <li>・地域教育コーディネーター（補助対象外）を学校に配置し、地域と学校の連携体制の基盤を整備した上で、地域学校協働活動推進員の配置へ繋げていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援ボランティア等、学校に対する多様な協力活動の活性化により、教員の業務負担軽減を図る。</li> </ul>	地域の方は、子どもたちの教育に自主的に関わっていると思う市民の割合	53	%	63	56.5	<p>地域のボランティア等による組織的な活動がコロナ禍から徐々に戻りつつある状況である。令和5年度は、目標値を下回るものとなったものの、佐賀市の独自事業として市内7つの小中学校に地域教育コーディネーター5名を配置し、地域学校協働活動の基盤整備や地域学校協働本部の立ち上げに向けた準備を行い、令和6年度は、新たに2つの地域学校協働本部を設置することとなった。</p> <p>今後もコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）と一体的に実施することを基本とし、コミュニティ・スクール担当部署との連携を図りながら実施校の拡充を目指す。</p>